# ≪施工要領≫

## ビックワン（懸垂物専用）　BGL タイプ(スチール)

## （金属系アンカー／ウェッジ式）

ユニカ株式会社

202506

## １．はじめに

本製品は金属系アンカー ウェッジ式のビックワン（懸垂物専用）BGL タイプ(スチール)です。

規定位置にセットした、ナットをハンマー等で打ち込み、トルクレンチで規定のトルク値までナットを締め付ける事により、本体が引き上げられ、テーパーに沿ってウェッジが拡張し、アンカーがコンクリートに固着されます。

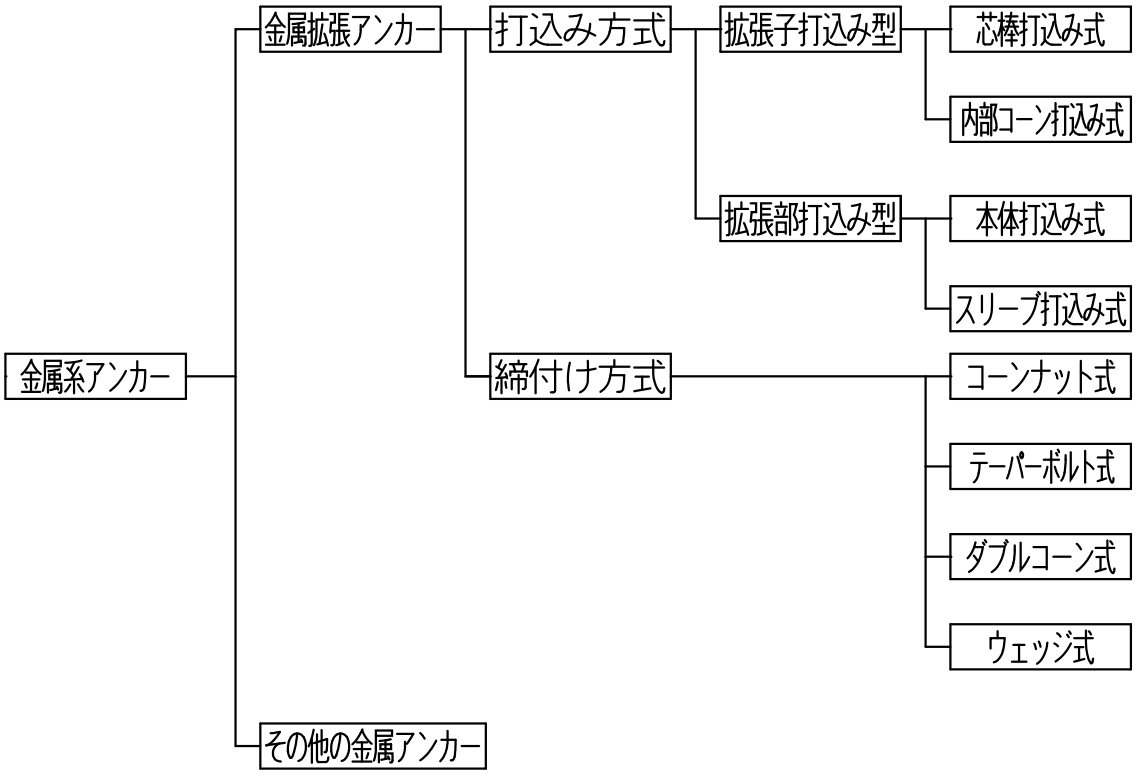



図１．金属系アンカー系統図

本「施工要領書」はユニカ金属系アンカーのご使用に際し、アンカー施工の安全性と確実性を確保する事を目的としています。

ユニカ金属系アンカーの施工に際しましては、本施工要領書を熟読賜りますようお願い申し上げます。

## ２．施工

### ２．１施工仕様

下記に示す仕様にて施工を行って下さい。

表１．ビッグワン（懸垂物専用）BGL タイプ（スチール）施工仕様一覧

| 品番 | ねじ径<br>(外径) | 全長<br>(mm) | 異径高ナット<br>ねじ径 | ねじ長<br>(mm) | ナット<br>二面幅<br>(mm) | 穿孔径<br>(mm) | 穿孔深さ<br>(mm) | 埋込<br>長さ<br>(mm) | 有効埋<br>込長さ<br>(mm) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| BGL-3070M | M10 | 70 | M10 x W3/8 | 26.5 | 14 | 10.0 | 60 以上 | 52 以上 | 42 以上 |
| BGL-4080M | M12 | 80 | M12 x W1/2 | 29.0 | 19 | 12.0 | 68 以上 | 61 以上 | 50 以上 |

表２．ねじ径に対するナット二面幅と締付けトルク

| ねじ径 | M10 | M12 |
|---|---|---|
| ナット二面幅 | 14mm | 19mm |
| 締付トルク | 30N･m | 45N･m |

専用打ち込み棒を使用する事により効率良く打ち込みを行う事ができます。

表３．専用打ち込み棒

| 品番 | 適合アンカー（品番） | 全長(mm) |
|---|---|---|
| NBG-30SD | BGL-3070M | 150 |
| NBG-40SD | BGL-4080M | 160 |

写真１．専用打ち込み棒

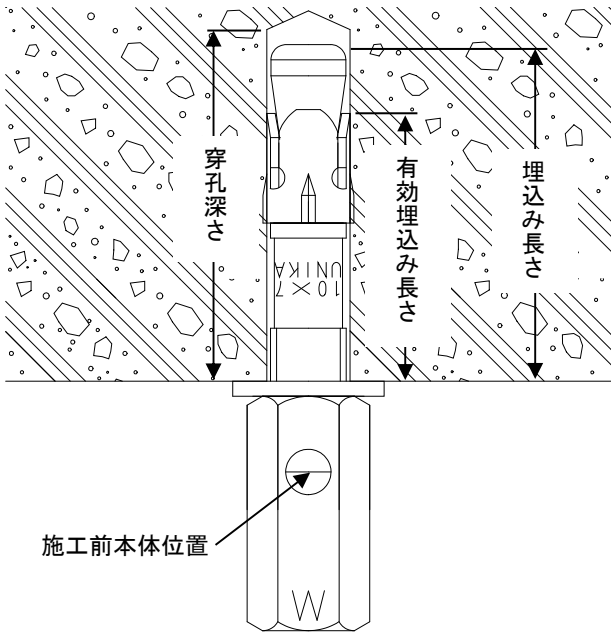
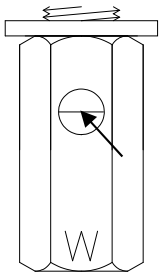



図２．各種深さと施工前ナット位置

**⚠ 注意事項**

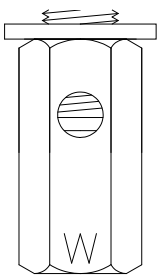
締付け前

アンカー本体頭部がナット穴の中央になる位置にセットしてから施工してください。




施工確認

規定の穿孔径・穿孔深さで施工しないと、トルクを負荷できず施工不良となります。規定のトルクが掛からない場合は、再度、穿孔径を確認の上、別の場所に施工してください。

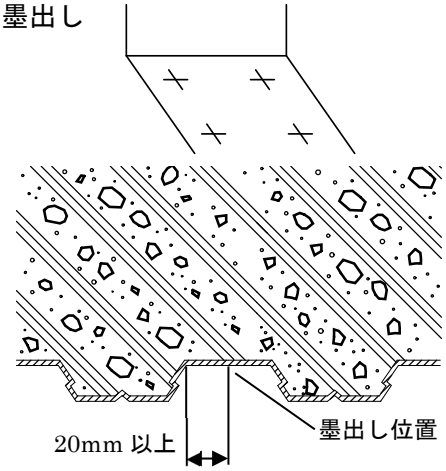
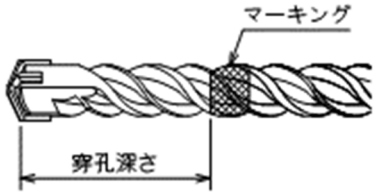
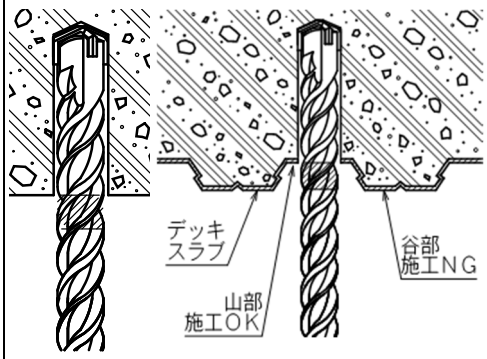


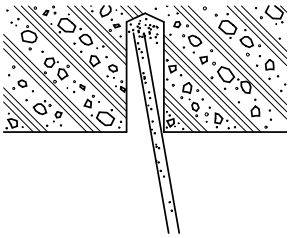
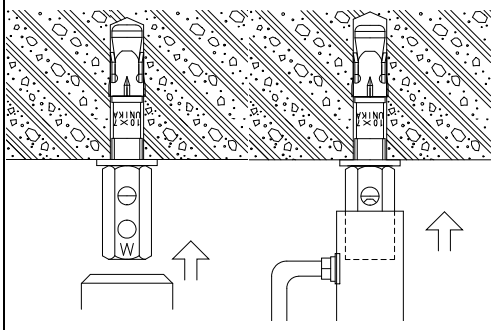
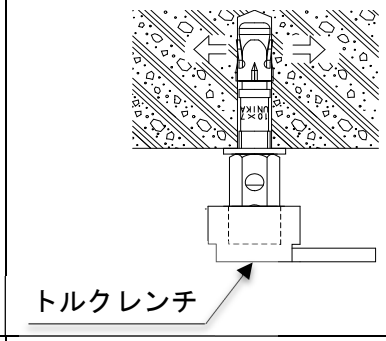
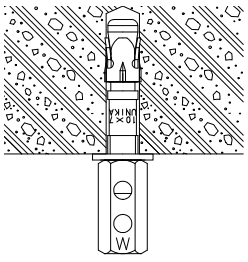
## ２．２母材

ユニカ金属系アンカーは普通コンクリート、石材、合成スラブへの施工が可能です。

## ２．３施工手順

表３．ビッグワン（懸垂物専用）BGL タイプ（スチール）施工手順

| 施工手順 | | 注意事項 |
|---|---|---|
| ① | 墨出し<br>  <br> | ・ 図面等の指示に従い、アンカーの施工位置に墨出しを行います。<br>・ 既に墨出しが行われている場合は、その位置をご確認ください。<br>・<br>注意：合成スラブに天井施工される場合は、山部の縁と墨出し位置を 20mm 以上離すようにしてください。 |
| ② | ドリルビットへのマーキング<br>  <br> | ・ 表１の品番に合った径のドリルビットを選定します。<br>・ ドリルビットの肩から穿孔深さを測り、ビニールテープ等でマークします。<br>・ 取り付け物の上や仕上げ材の上から穿孔する場合は、これらの厚さを加えた分を穿孔深さとしてください。 |
| ③ | 母材への穿孔<br>  <br> | ・ 墨出しを行った位置に取り付け物の上からまたは母材へ直接穿孔を行います。<br>・ 穿孔は施工面に直角になるように行います。<br>・ 合成スラブの場合は、山部にハンマードリルを用いてデッキプレートごと穿孔してください。<br>（ドリルビット：クロス刃推奨）<br><br>注意：合成スラブに天井施工される場合は、孔がスラブを貫通しないようご注意ください。 |

| | | |
|---|---|---|
| ④ | 孔内の清掃<br>  | ・ 集塵機、ブロワー等で孔内の切粉を除去します。<br>・ 孔内に切粉が残りますと不具合が発生する可能性があるので、確実に除去してください。 |
| ⑤ | 孔内へのアンカーの挿入<br>  <br>ハンマー打込み　専用打込み棒施工 | ・ P2 の注意事項の締め付け前で記したように、アンカー本体頭部がナット穴の中央になる位置にセットしてください。<br>・ アンカーをハンマーまたは、「ビッグワン高ナット専用打込み棒」で打込み、ワッシャーが取り付け物に接するまで挿入してください。<br>・ アンカーのサイズにより適切な重さのハンマーに変更してください。<br>・ <u>取り付け物や母材の仕上げ材がある場合は、その厚さを考慮して、埋込み長さを調整してください。</u><br>＊必ず、正常な母材にアンカー埋込み長さが埋込まれるように施工してください。 |
| ⑥ | ナットの締付け<br>  <br>トルクレンチ | ・ トルクレンチで表２のねじ径に合ったトルク値までナットを締付けてください。 |
| ⑦ | 施工完了<br>  | ・ ウェッジ３面が、本体テーパーに沿って拡張し、施工完了。<br><br>＊施工完了後、ナットを外してから再度締付けを行う場合も、表２のトルク値まで締付けてください。 |

## ３．取り扱い上の注意事項

### ３．１ご使用になる前に

#### ３．１．１取り付け面および取り付け物の確認

施工面、母材などについて以下の項目をご確認ください。

① 取り付け面が均一な平面であること。

② 取り付けの対象となるコンクリートは JIS で規定されている普通のコンクリートであること。

③ 取り付け物と取り付け面にすき間のないこと。

④ 取り付け物とナット、ワッシャーの間にすき間のないこと。

⑤ 仕上げ材の有無および、その厚さの確認。

※①②③④に該当しない場合、当アンカーを使用しないでください。

#### ３．１．２アンカーの点検

ご使用前に以下のようなアンカーの損傷が見られる場合は、使用を中止し現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

① 本体やナットねじ部のへこみ、欠け等。

② その他アンカー本体の損傷。

③ ウェッジ部のへこみ、欠け等。

※トルクが正常に掛らないなど安全に施工を行えない恐れがあります。

### ３．２安全に関する注意事項

① 施工時は必ず安全メガネ、ヘルメットなど保護具を着用してください。

② 孔内の切粉は集塵機またはブロワーできれいに取り除いてください。

③ 取り付け物の上から使用する場合や、母材に仕上げ材がある場合は、その厚さに応じて埋込長さを調整してください。

④ 孔への打ち込み前にアンカー本体頭部がナット穴の中央になる位置に本体とナットをセットしてください。

⑤ 施工はトルクレンチを用い、規定のトルクで締付けてください。

### ３．３異常に対する処理

施工中に次のような異常が発生した場合、ただちに作業を中止し、現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

① アンカー本体が正常に挿入できない。

② アンカー本体の損傷。

③ 規定のトルク値が出ない。

### ３．４その他

本製品は金属製のため、使用環境によっては腐食の恐れがあります。ご考慮ください。